

代表質問から

Q 東京圏からUターンする従業員の数は14社と広がりを見せている。導入企業数が伸びない理由をどう把握しているか。また、県負担の引き上げや、県内学生まで対象を大幅に拡大することなど、制度の拡充は考えられないか。所見を伺いたい。

奨学金返還支援制度について

Q 来年4月から瀬戸内国際芸術祭が行われるが、県内の観光地に足を運んで、滞在してもらう対策が重要だ。例えば、アートや生活文化を体験できる課を設けたり、京橋から瀬戸内海の島々のクルーズ船運航を支援することなど、観光施設との周遊チケットの販売など、新たな観光商品の開発を検討してはどうか。芸術祭を訪れる観光客を県内に呼び込む観光振興施策について、所見を伺いたい。

高橋 徹議員 (自由民主党)

観光振興について

Q 10月、倉敷市、総社市は平成30年7月豪雨災害被災者の見守り相談支援事業を開始し、県はくらし復興サポートセンターを設置した。仮設住宅や各地に分散している被災者の支援を確保することが重要だが、孤立防止の見守り、日常生活の相談支援などを担う市町村をどのようにサポートしていくのか伺いたい。

小田 圭一議員 (自由民主党)

市町村が行う被災者生活支援のサポートについて

11月定例会 県議会を振り返る

11月定例会は、11月29日から会期23日間で開かれ、諸議案の審議を終えて12月21日に閉会しました。この議会に知事から提出された議案は、予算案13件、事件案件12件、条例案7件、人事案件2件の計34件でした。また、議会提出の議案は、岡山県議会の議員報酬削減及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、1件が可決されました。12月4日には代表質問が行われ、小田圭一議員(自由民主党)、高橋徹議員(民主)、荒島俊造議員(公明)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、12月7日、11日から14日の計5日間にわたり18名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

公共土木施設の災害復旧について

9月定例会 県議会を振り返る

9月定例会は、9月10日から会期25日間で開かれ、諸議案の審議を終えて10月4日に閉会しました。この議会に知事から提出された議案は、予算案3件、事件案件4件、条例案7件、報告案件2件の計21件でした。また、議会提出の議案は、「私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書」など2件が可決されました。9月12日には代表質問が行われ、中塚周一議員(自由民主党)、花房尚議員(民主)、県民クラブ、笹井茂智議員(公明)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、9月19日から21日、26日から27日の計5日間にわたり21名の議員が一般質問を行いました。

中塚周一議員 (自由民主党)

Q 平成30年7月豪雨の災害対応について、地域の実情に配慮しながら、公共土木施設の災害復旧を確実に実施することが必要だ。また、必要に応じて、原形復旧ではなく、再度災害が起きたらいつか今後に備えた対応も必要だ。今後の見通しについて伺いたい。

A 災害復旧事業を迅速かつ確実に実施するため、今回の災害復旧事業を对象として、

学校での熱中症対策について

花房 尚議員 (民主)

Q 記録的猛暑の中、学校での授業や行事の最中に熱中症などで倒れる子どもたちが全国的に相次ぎ、学校の暑熱対策が喫緊の課題だ。熱中症に対してどのように予防対策を講じたのか。また、小中学校普通教室の冷房設置率は、都道府県で格差があるが、今後どのように対応するのか。

ダムの放流情報について

笹井茂智議員 (公明)

Q 豪雨の際のダム放流について、今から何を受ける住民は有用な情報として認識できないか。近頃の河川水位が放流から何分後にどれだけ上昇するのかなどを具体的に伝えることが、住民にとって有用な情報だがダムの放流情報について、

A 今後のように住民へ分かりやすく周知していくのが、伺いたい。

A 河川の水位は、ダムより下流での雨量や支川からの流入により大きく変動するがダムの放流による河川水位の上昇について、どのように情報提供できるか、今後、検討してまいります。なお、旭川において、旭川ダムの放流量や流域の雨量などを踏まえた水位情報提供ができるよう、関係機関と検討、検証を行っているところである。

A 適切な水分補給を徹底する例年の通知に加え、緊急対策として、気温35℃以上の場合は運動を原則中止するなど、日本スポーツ協会が示した指針を改めて周知することにも一人ひとりの状況を把握し、熱中症予防に万全を期すよう、市町村教委や、学校を指導してきたことである。また、小中学校普通教室の冷房設置率は、9月1日現在、40.0%であるが、市町村教委の一層の促進を図るため、引き続き、市町村教委に対し、国庫補助制度の活用方法や好事例の紹介、訪問による技術的な助言などを進めてまいります。

A 適切な水分補給を徹底する例年の通知に加え、緊急対策として、気温35℃以上の場合は運動を原則中止するなど、日本スポーツ協会が示した指針を改めて周知することにも一人ひとりの状況を把握し、熱中症予防に万全を期すよう、市町村教委や、学校を指導してきたことである。また、小中学校普通教室の冷房設置率は、9月1日現在、40.0%であるが、市町村教委の一層の促進を図るため、引き続き、市町村教委に対し、国庫補助制度の活用方法や好事例の紹介、訪問による技術的な助言などを進めてまいります。

Table with 6 columns: Date (12月14日 to 12月7日) and list of questions/answers by name and party.

Table with 2 columns: 11月定例会 議決結果 (Budget, Events, Ordinances, Personnel)

Table with 7 columns: Date (9月27日 to 9月19日) and list of questions/answers by name and party.

Table with 2 columns: 9月定例会 議決結果 (Budget, Events, Ordinances, Personnel)

県政に参加しませんか? 県の予算や条例などがどのように決められているか、本会議・委員会を傍聴・視聴できます。また、インターネットでも議会中継を見ることができます。

本会議を傍聴しよう! インターネットで議会中継を見よう! 本会議の様子は、インターネットでライブ中継と録画映像の配信を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができます。

テレビ番組のお知らせ 県議会では、県議会議員が出演する議会広報テレビ番組(30分番組)を放送しています。定例会の代表質問の内容や県政に関する重要なテーマについて、幅広く議論しています。

県議会トピックス

岡山県議会地域公共政策セミナー 県議会では、県政などに関する政策課題の解決に向けた立案を行うための研究を目的として、地域公共政策セミナーを開催しています。今年度は、大学から講師をお招きし、2回開催しました。

国道2号整備促進岡山県議会議員連盟 瀬戸内海沿岸部を東西に縦貫し、岡山県南部の大動脈である国道2号の総合的な整備の促進を目的として、全議員参加のもと、国道2号整備促進岡山県議会議員連盟が設立されました。

第1回(6月12日) 岡山大学の狩野光伸副理事(大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授)から、国連が2015年に採択した国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)についてのお話をお聞きし、その後、今後の展望などについて、意見交換を行いました。

総決起大会、提言活動 9月7日 岡山県などが主催し、国道2号整備促進岡山県議会議員連盟などの共催で「国道2号岡山バイパス渋滞対策促進総決起大会」が東京都内で開催されました。